

# 三密でも大丈夫になるかもしれないねえ

**日** 本を代表する航空会社は、みなさんも、よく知っていますように、ANAホールディングスとJALです。

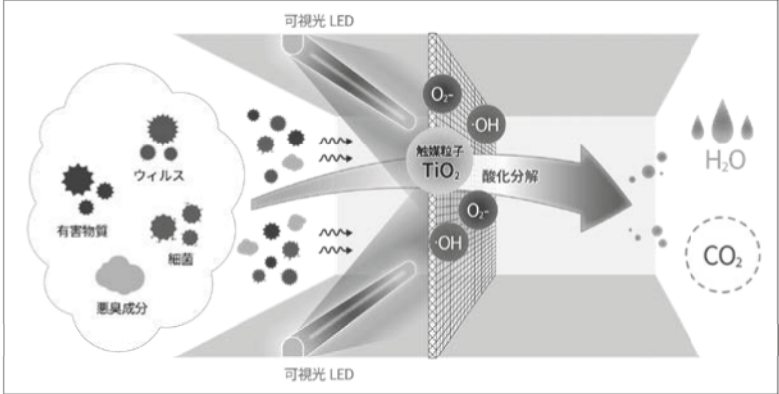
その二社が、コロナ禍のおかげで、今期、えらい赤字を出すそうです。

なんでもANAは五一〇〇億円、JALは最大で二七〇〇億円というから大変です。

まあ、飛行機が、今海外に、ほとんど飛んでないから、しょうがないんじゃないけど、それにしても大きな額です。

ウチも、航空分野の仕事をして、大丈夫やと思ってました。飛行機の巨大化がステータスや、と想ってた時代がありました。

ところが、今、飛行機で売れてるのは、大きいのがなくて、小型飛行機が、よう売れてるそうです。富裕層がコロナを怖がって、自分たちだけで旅行するんじゃないかなあ。同じ飛行機でも、売れるもんがこ



●光触媒反応とは？(カルテックHPより)

んなに変わってくるとはねえ。わからないもんです。

飛行機業界は、たまたまコロナ禍でこんなになりましたけど、他の業界だって世の中の変化にさらされています。

地球温暖化対策で、自動車は、二酸化炭素出さないように、せないけません。それでガソリンを使わない電気自動車が、世界中で開発競争になってます。

同じ人や物を運ぶ自動車にしても、電気自動車になると、部品少なくなつて、例えばエンジンはいらなくなりますなあ。部品つくつた関連企業は大変です。

また電気自動車の開発は、日本は遅れをとつてるといいます。排ガス規制では、世界の先頭をきつた日本の自動車メーカーは、今後大丈夫なんやろうか、と心配してます。

**これからは技術だけのうて  
マネーシメントもがんばらな**

コロナ禍は確かに、経済ばかりでなく産業に大きな影響を及ぼしました。しかし、それ以前から、日本は元気がなくなってきた気がします。

日本のこれからはどないなるんでしょう。



●(株)アオキ取締役会長  
**青木 豊彦** (あおき・とよひこ)



1945年大阪府生まれ。1997年(株)アオキは航空機メーカーのボーイング社の認定工場に。また東大阪の技術力を生かし人工衛星「まいど1号」を開発、2009年に打ち上げ成功。その後無人垂直飛行機「AKITU」も開発に成功した。2014年4月、国立和歌山大学客員教授に就任。2016年には大阪市立大学学長特別顧問に就任。2020年、国立滋賀医科大学有識者会議委員に就任。(一財)ものづくり医療コンソーシアムの理事としても活躍中。

あるセミナーに行つて瀬戸大橋、明石大橋の話をお聞きしました。橋の建設は日本の誇る世界一の技術なんですね。これが。

ところが、少し前ですが、トルコで世界最大級の橋をつくらうという入札で、韓国に負けていたんです。トルコの条件は、三・七キロの橋を建設して、建設費は、つくったところが運営費で回収するものやっただけです。韓国は、この運営期間が一六年二か月と最短で、入札に競り勝ちました。

まあ、運営期間がポイントやっただけというから、かならずしも日本の技術が否定されたのやないんでしょ。これからは、技術だけのうて、マネージメントもがんばらないけません。海外出るには、国のバックアップが欠かせません。

他の国は、みなそうです。企業だけにまかせるとは、国が後押ししてくれませんか、どうしようもありません。

前首相の安倍さんは、このことようわかってたようです。残念な結果でしたが、この橋についても、トルコのエルドアン大統領との会談で、話題にするほどだったと聞いてます。

また、協道にそれると言われそうですが、安倍さんがお辞めになったとき、朝日新聞の調査では、「七年八か月を評価するか」の問いに「評価する」と答えた人が七一%でした。

安倍さんご苦労様でした。

**目のつけどころがシャープでしょ  
その時代に戻るべきでしょね**

さて、今月の本題です(笑)。

「四代目三遊亭圓歌という落語家があります。先代は歌奴とし

て戦後有名やったから、青木さんもご存知です。四代目の新作に「龍馬伝」があります。龍馬の一生を語るのですが、ほとんど別の話で、龍馬の話はわずかです」。

東京のおっちゃんが何かつぶやいています。それはおいといて、コロナ禍の中で、どう技術力を発揮するか、という予告編です。

カルテック(株)という会社があります。二〇一八年創業という新しい会社です。全従業員二七人の会社で、このうち一六人がシャープ出身というベンチャー企業です。

この会社は光触媒という技術を持っています。簡単に言えば、光触媒フィルターに光を当てると、表面が酸化力を帯びる。その酸化分解反応を使い、空気中の悪臭成分や有害物質などを分解できるというものです。

元タイムフルエンザ用に開発していたのですが、新型コロナウイルスに対する抑制効果が実験で証明されて、万年筆の親玉のような、首かけタイプの空間除菌脱臭機を、一〇月末から売り始めました。

(株)アオキは、こここの総代理店です。これから製品開発にも技術提携します。

自らも技術出身の染井社長さんは、テレビでこう言うてました。「目のつけどころがシャープでしょ」その時代に戻るべきでしょうね。「目のつけどころがカルテックでしょ」になりたいですね、と。

フェイスシールド被って、首かけ空間除菌脱臭機つけたら、三密でも大丈夫になるかもしれませんねえ。